

堺市指定管理者評価表

(評価対象期間 : 令和5年4月1日 から 令和6年3月31日 まで)

1 基本情報

(1) 公の施設の名称	
堺市立東文化会館	
(2) 施設の設置目的	
市民文化の創造及び振興に寄与するため	
(3) 所管部局	
文化観光局 文化国際部 文化課	
(4) 指定管理者名	
公益財団法人堺市文化振興財団	
(5) 指定期間	
令和2年4月1日から令和7年3月31日まで(5年間)	
(6) 主な事業	
・ 貸館業務をはじめとする施設の管理運営に関すること ・ ホールなどを活用した文化芸術振興事業を行うこと ・ 施設設備の維持及び修繕等、保守管理に関すること ・ 消防訓練や避難経路の確保を行い緊急時の対応に備えること ・ 市から貸与を受けた備品を適切に管理すること ・ 利用者の意見を管理運営に反映させるため、アンケート等による意見聴取を行うこと	
(7) 施設分類	(8) 有料施設の有無
文化・教育施設	有 (利用料金制)
(9) 選定方法(公募・非公募の別)	
公募	
(10) 主な利用者	(11) 市内における受益対象者数
市民	不特定多数
(12) 近隣の類似施設	
大阪狭山市文化会館(SAYAKAホール)	

2 管理運営状況

(1) 適正な管理運営の確保

ア 取組状況

平等利用、安全確保、個人情報の保護等	・発達障害の特性や個々の違い、必要な支援等についての研修を実施し、すべてのスタッフが平等利用に向けた意識醸成への取組を行った。 ・情報セキュリティ研修を行うなど個人情報の保護に対する職員の意識付けを行った。
職員配置、人材育成、施設の維持管理等	・アートマネジメントセミナーや接遇研修をはじめ多様な研修を実施した。 ・年度事業計画書に基づき、適宜、保守点検や不具合箇所の修繕を行うなど適切に維持管理を行った。
施設の設置目的に沿った事業の実施	・東区の文化団体が出演する事業の企画や、東区出身のアーティストを地元小学校へ派遣するなど、市民が文化芸術にふれる機会を創出した。
その他特筆すべき取組	・アミナス北野田及びベルヒル北野田が複合施設であることから、連携を取りながら防災・防犯対策を行っている。

イ 市による状況分析

近隣の学校、文化団体をはじめとする地域住民や利用者とのコミュニケーションを積極的に図るなど、地域文化会館として地域貢献に取り組んでいる。

(2) 利用者サービスの向上

ア 利用状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指定管理者名	公益財団法人 堺市文化振興財団	公益財団法人 堺市文化振興財団	公益財団法人 堺市文化振興財団	公益財団法人 堺市文化振興財団	公益財団法人 堺市文化振興財団
利用者数(単位:人)	88,676	86,779	128,212	178,829	—
稼働率(単位:%)	80.3	81.2	81.5	82.1	—
利用者満足度(単位:%)	96.2	96.2	95.0	97.0	—

イ 取組状況

サービス向上、利用促進、自主事業	広報さかいや財団HP、メールマガジン等様々な媒体に案内を掲載し、集客及び利用促進に努めた。
意見・苦情・要望等への対応	事業ごとにアンケートを集計し、次回以降の事業企画へ反映している。
その他特筆すべき取組	アミナス北野田及びベルヒル北野田との複合施設であることから、これらの施設と連携を取りながら、イベントの開催を行っている。

ウ 市による状況分析

新型コロナウイルス感染症の影響から少しずつ回復し、令和3、4年度よりも利用者数及び稼働率は高くなった。また、アンケートの結果分析を行って運営につなげるなど満足度は高水準を維持している。

2 管理運営状況

(3) 収支

ア 収支状況

(単位:円)

■ 指定管理業務

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	【参考】令和5年度(予算)
指定管理者名		公益財団法人 堺市文化振興 財団	公益財団法人 堺市文化振興 財団	公益財団法人 堺市文化振興 財団	公益財団法人 堺市文化振興 財団	公益財団法人 堺市文化振興 財団
収入	指定管理料	124,000,339	116,122,284	112,959,474	112,851,038	112,700,000
	利用料金	23,846,300	31,151,478	39,671,212	38,363,128	48,000,000
	負担金	0	0	0	0	0
	その他	13,229,852	14,528,140	10,706,316	10,181,646	6,508,000
合 計		161,076,491	161,801,902	163,337,002	161,395,812	167,208,000
支出	人件費	55,613,569	57,548,711	57,216,453	55,840,593	45,283,000
	委託料	75,477,964	67,528,897	72,742,834	71,838,167	69,929,000
	総支出額に占める 委託料の割合	46.2%	42.4%	43.0%	43.8%	41.8%
	修繕費	3,001,862	4,049,069	2,131,107	2,723,903	3,047,000
	光熱水費	15,655,051	17,208,847	25,978,270	20,514,236	21,000,000
	その他	13,669,075	12,788,578	11,168,980	13,139,669	27,949,000
合 計		163,417,521	159,124,102	169,237,644	164,056,568	167,208,000
収支差額		-2,341,030	2,677,800	-5,900,642	-2,660,756	0
(市への納付金の額)		0	0	0	0	0
(徴収委託の場合の徴収額)		—	—	—	—	—

■ 自主事業 (有)

(単位:円)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	【参考】令和5年度(予算)
収 入	873,496	1,088,837	1,833,124	1,204,917	1,733,000
支 出	829,607	1,156,602	1,890,243	993,878	1,733,000
収支差額	43,889	-67,765	-57,119	211,039	0
(市への納付金の額)	0	0	0	0	0

イ 取組状況

経費の縮減、経理事務等	新型コロナウイルスが5類に移行したものの、空調設備の更新工事による2か月の休館もあり、利用料金収入は伸び悩んでいる半面、光熱水費は支出減となった。 なお、その他収入には堺市光熱費高騰に伴う指定管理者管理運営継続支援金3,694,000円を含む。
-------------	---

ウ 市による状況分析

意識した節電や労務管理に注力することで支出額を圧縮できたものの、それ以上に利用料金収入の落ち込み等により、結果的に収支はマイナスとなった。

3 目標管理、総合評価

(1) 目標管理

ア 仕様書で定める目標の達成状況

■適正な管理運営の確保

指標	目標	実績
ホール活用事業	6回以上	19回
ギャラリー活用事業	3回以上	5回
生涯学習施設活用事業	12回以上	67回

■利用者サービスの向上

指標	目標	実績
利用者数	250,000人以上	178,829人
施設稼働率	85%以上	82.1%
満足度	利用者の満足度:90% 文化芸術振興事業に対する満足度:90%	利用者の満足度:97% 文化芸術振興事業に対する満足度:90%

■収支

指標	目標	実績
利用料金収入	51,600,000円	38,363,128円

イ 市による状況分析

実施事業について、中止となった企画はあるものの代替事業を企画、実施することで設定目標を達成した。利用者満足度も高い水準を維持しており、利用者ニーズに応じた事業展開ができています。一方で、利用者数および施設稼働率については、令和4年度よりも微増しているものの、コロナ禍の影響で解散した団体も多いことから貸館利用が低迷しており、目標達成には至らなかった。

(2) 総合評価

目標の達成状況のほか、管理運営状況も含め、以下の評価基準により総合的に評価を行う。

	指定管理者	所管課
評価	B	B
評価の理由	文化芸術振興事業や自主事業をほぼ計画通りに実施でき、施設運営状況は徐々に回復している。アフターコロナでの新しい生活様式や活動形態の多様性を意識しながら、安全・安心を基本に置きつつ、文化芸術振興事業や地域コミュニティの醸成を通して稼働率の向上や収益の改善に努める。	新型コロナウイルスの影響は薄れてきてはいるものの、コロナ以前の水準には戻っておらず、利用者数、施設稼働率ともに停滞気味ではあるが、利用者満足度は高い水準を維持しており、安定したサービスを提供できている。
今後の取組	利用者アンケートや事業トレンド等を分析し、親子同伴参加型事業等、各世代をターゲットとした事業を企画し、利用者や来場者にとって魅力ある事業を展開する。また、設備機器の更新と館内の通信環境の改善など、利便性の向上にも努める。	利用者ニーズに沿った主催事業を企画し、またホール練習利用や稼働率の低い多目的室等の貸館利用を案内し、多くの方が文化芸術に触れる機会をより多く享受できるよう図りたい。未達項目について、これまでと同様の運用ではなく、駅直結という利便性の高さを活かし、企業の説明会や講演会等の利用など、新規利用者の獲得に努め目標達成に向けて積極的に取り組んでほしい。

評価基準	A	仕様書で求める目標や水準を上回る管理運営がなされ、優良であるもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の管理運営がなされ、適正であるもの
	C	管理運営が仕様書で求める目標や水準を下回っており、努力が必要であるもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要であるもの